

人間は、創造をしながら時空を超えた歴史の旅を続けてきた。
創造とは、それまでになかったものを探求してきた結果ではないだろうか。



虹のキャラヴァンサライ
あいちトリエンナーレ2016
舞台芸術公募プログラム

人間の歴史は、祈りの歴史でもある。

時には神と呼ばれる見えないもの、その存在を証明できないもの、しかし心のどこかで響き合える存在へ、
自分たちがいまここに存在している意味を、問いかけ続けてきたのではないだろうか。

人間の創造の歴史は、祈ることより生まれたのではないか。

そして、わたしたちの祈りは、これからどこへ向かうのだろうか。

あいちトリエンナーレ2016舞台芸術公募プログラム

Homo Orans et Harmonia Mundi

～祈る人、そして世界の調和～

パイプオルガンとピアノ、歌、朗読、舞踊による夕べ

2016年9月24日土 開演18:45
開場18:00(18:15よりプロローグ演奏)

愛知県芸術劇場 コンサートホール 全自由席 2,000円

■主催：吉田文 ■共催：名古屋オルガンの秋実行委員会 逍遥フォーラム
■チケット取扱い：二宮音楽事務所 052-505-0151 ・チケットぴあ 0570-02-9999 ・市内各プレイガイド
■お問い合わせ：二宮音楽事務所 052-505-0151 mail@aya-yoshida.de

Program

プロローグ J. ケージ (1912-1992) ORGAN2/ASLSP

第一章 旅するもの

- I アボリジニの祈り (ソプラノ・ピアノ)
Th. マイヤー＝フィービッヒ (1949*) Quadruplum I (委嘱新作)
- II キリエ・エレイソン (グレゴリオ聖歌・パイプオルガン)
グレゴリオ聖歌・ルター讃美歌・J. S. バッハ (1685-1750) 第三クラヴィーア練習曲集より「キリエ～クリステ～キリエ」
- III マヤ・シャーマンのことば (ピアノ・パイプオルガン・舞踊)
Th. マイヤー＝フィービッヒ (1949*) Quadruplum II (委嘱新作)

第二章 生きとし生けるもの

- IV 森羅万象 (ソプラノ・朗読・ピアノ・パイプオルガン・舞踊)
Th. マイヤー＝フィービッヒ (1949*) Quadruplum III (委嘱新作)
ギュツラフ/山本音吉訳 「ヨハネによる福音」より (朗読)
- V 星・月・太陽 (パイプオルガン)
L. ヴィエルヌ (1870-1937) 「24の幻想曲」より 夜の星～太陽への賛歌
- VI Musica universalis - 天球の音楽 (朗読)
坪内逍遙訳「ヴェニス商人」より～森鷗外訳「ファウスト」より

第三章 永遠なるもの

- VII ウパニシャッドより (ソプラノ・パイプオルガン)
Th. マイヤー＝フィービッヒ (1949*) Quadruplum IV (委嘱新作)
- VIII 昇天 (オルガン・舞踊)
O. メシアン (1908-1992) 「キリストの昇天」より「キリストの栄光を自らのものとした魂の歓喜の高まり」
- IX 永遠なるもの (パイプオルガンソロ)
J. S. バッハ「フーガの技法」より「コントラプンクトゥスXIV」(Th. ユングによる完成補作版、日本初演)